

茨城

市区町村名	木の名前	木の画像	花の名前	花の画像	コメント・備考	入力日
つくばみらい市	桜		菜の花			2007/10/29
下妻市	松		菊			2007/10/30
桜川市	未定		未定			2007/10/30
東海村	黒松		スカシユリ			2007/10/30
五霞町	梅		バラ			2007/10/31
常総市	カシ		サクラ		<p>カシ 当地方に自然林として多く自生する照葉樹であり、常緑で美しく力強い樹木です。 防風、防火などのために生垣として、植えられ、堅く粘りある材質は、農耕用具などの用材にも多く用いられ古くから生活に密着しています。</p> <p>サクラ サクラといえば、日本の花の代表で、その花の美しさから多くの人に親しまれています。特に、当地方の台地に多く自生するヤマザクラは、古くから農耕のシンボルとして、農民の生活に深いつながりを持ち大切にされてきた。 また、「八間堀のサクラ(ソメイヨシノ)」として市民から親しまれていたサクラが無くなり、その復活を望む声が多く、当市を再びサクラの名所にする願いが込められています。</p>	2007/11/1
守谷市	松		山百合			2007/11/2
石岡市	しい		ゆり			2007/11/7
坂東市	ケヤキ		チャノハナ		<p>ケヤキ 古くから、社寺や屋敷林に多く見られ、四季折々にその美しさを見せる。市内には、県内有数の名木が見られるほか、公園や公共施設などにも植栽されており、昔から、建築材など、生活に身近なところで使われ、多くの市民に親しまれている。 その堂々とした風格から限りない坂東市の発展の象徴としてふさわしい木である。</p> <p>チャノハナ 坂東市は、猿島茶の産地であり、製茶用に栽培されるほか、畑の境界などに植栽され、その花は、純白で香りを放ち、清潔で気品が高い。 江戸末期においては、先人の偉大な努力によって輸出されるなど、他の地域に先駆けて、地域から国際化を志向した産品として、先進的な植物である。 「地域の歴史・伝統」と「世界への発信・国際化」のシンボルであるチャノハナは、歴史と伝統を受け継ぎ、新たな交流・連携時代を迎える坂東市にとって、ふさわしい花である。</p>	2007/11/13
筑西市	さくら		(春)なしのはな (秋)コスモス		<p>市の木:さくら 市内の全域に数多くの品種が植栽されており、名所も多く、広く市民に親しまれています。春、咲き誇る姿は美しく、存在感があり、また優しさも感じられます。合併により新しく誕生した筑西市にふさわしい木です。</p> <p>市の花(春):なしのはな 筑西市は、日本で最も古い梨の産地のひとつ。県の銘柄産地に指定され、国内有数の産地です。梨の白い花は、清楚で気品が漂い、優しさを感じられます。市の繁栄のシンボルとしてふさわしい花です。</p> <p>市の花(秋):コスモス 可憐でありながら、倒れても立ち上がる力強さを持つ花です。『宇宙』という意味があり、市の将来性と可能性を象徴しています。また『調和』という意味もあり、4市町合併で誕生した筑西市をイメージできます。</p>	2007/11/13